

研究課題名 網脈絡膜疾患における網脈絡膜血流と脈絡膜血管腔との関連

1. 研究の対象

当院で平成 24 年 1 月から平成 27 年 5 月までにレーザースペックルフルオログラフィおよび光干渉断層計で撮影がされている、正常眼 100 例および網膜疾患症例 100 例

2. 研究目的・方法

正常人眼で網脈絡膜血流と脈絡膜血管腔との関連をまず調べ、その後網脈絡膜疾患と比較検討することにより、網脈絡膜疾患において、血流の変化がいつの時点からどのように生じるかが解明される。外来における検査から得られた年齢、性別、眼圧、眼軸長などを調べる。2 群間の比較には unpaired t-test、相関関係には回帰分析を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、視力、視野、屈折、角膜曲率半径、角膜厚、眼軸長、眼底所見、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、レーザースペックルフルオログラフィ、補償光学眼底カメラ、眼底写真、蛍光眼底造影、細隙灯顕微鏡検査、罹病期間、現病歴、既往歴、家族歴のデータ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 眼科

岩瀬 剛 (研究責任者)